



人類に
奉仕する
ロータリー

ジョン・ジャーム
国際ロータリー2016-17年度会長

第2510地区 第11グループ

函館東ロータリークラブ

第2871回
11月29日(火)

広めようロータリーを・前進のために

2016~2017年度 会長 五十嵐 正

会報 2016~2017

本日のプログラム

「暴力団情勢と不当要求防止対策」

公益財団法人 北海道暴力追放センター函館支局
支局長 佐々木 好明氏

次週のプログラム 12月6日(火)

年次総会

- 例会場 / ホテル函館ロイヤル TEL (0138) 26-8181 (代)
- 例会日 / 毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所 / ミチロビル4F TEL (0138) 23-3870 FAX (0138) 22-2251
- 会長 / 五十嵐正 ●副会長 / 吉川達也 ●会長エレクト / 山谷謙治
- 幹事 / 石畑弘樹 ●副幹事 / 田中治
- 友好クラブ / 青森東ロータリークラブ・長崎東ロータリークラブ

第2870回例会 2016年11月15日(火) 天候 晴

月間テーマ ロータリー財団月間

■ロータリーソング それでこそロータリー

■司会 五十嵐 正 会長

■ゲスト

NPO法人 小呂野「ゆあさ社会福祉士事務所」
社会福祉士 寺尾 賢一氏

■会長報告

- 1、第3回クラブアッセンブリー報告
- 2、ロータリー米山記念奨学会より池垣清信会員へ米山功労者第29回メジャードナーの感謝状が届けましたのでお渡しいたします。

■委員会報告

- 1、国際奉仕委員会 五十嵐稔委員長 11月18日~23日に車椅子寄贈にタイ訪問に行ってきます。
- 2、親睦活動委員会 佐藤真一委員長 例会終了後、親睦活動委員会を開催いたします。

■幹事報告

- 1、11月29日(火) 例会終了後、指名委員会を開催いたします。
- 2、当クラブ次週11月22日(火)は自主休会となります。
- 3、青森東RCより会報が届きましたので回覧いたします。
- 4、他クラブ情報、11月25日(金) 函館五稜郭RC移動例会に変更となります。



「入口支援 ~司法と福祉の連携~」

NPO法人小呂野 ゆあさ社会福祉士事務所 寺尾 賢一氏

【プロフィール】

- ◆昭和62年日本福祉大学卒業
- ◆医療機関を経て平成3年函館市役所にて勤務
- ◆平成28年4月より現職
- ◆平成8年3月 社会福祉士資格取得
- ◆市役所では、生活保護ケースワーカー・面接相談・精神保健福祉相談員・精神疾患を抱える方又は家族の方への相談
- ◆介護保険制度の立ち上げ、認定審査会の運営、訪問調査
- ◆障がい者の方の相談
- ◆児童、母子世帯、DV被害者の方々への支援



社会福祉士とは

- 社会福祉士および介護福祉士法第2条第1項
「社会福祉士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもって、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うこと（相談援助）を業とする者をいう」

具体的にはどんな仕事?

- ・高齢者包括支援センター 相談員
 - ・居宅介護支援事業所 介護支援専門員
 - ・デイサービス・施設等の相談員
 - ・障がい者相談支援事業所 相談員
 - ・病院 医療相談員または精神保健相談員
 - ・行政 福祉事務所等の職員
- などなど福祉に関係する職場の相談業務を担当。
社会福祉士の倫理(社会正義・人権擁護)を大切にして専門的な技術を用いて相談を行う。
その人がその人らしい生き方を支援、応援して行く。

ゆあさ社会福祉士事務所

モットー「よりよく生きるを支援」
業務内容 成年後見受任/各教育機関の講師/各種研修会の講師/社会福祉士会事務局/個人契約の相談援助/福祉制度の利用ができない人への相談・援助(福祉制度の谷間にある人・福祉が必要だが未だ制度がない)

累犯障がい者

- ・累犯障がい者とは 知的障がいまたは精神障がいがあり再犯を繰り返す者
- ・受刑者で知的障がい者の割合は 法務省調査4分の1
- ・どんな罪で刑務所 2006年調査 窃盗44% 詐欺7%

窃盗 → おにぎり、パンなどを盗んだ

詐欺 → 無銭飲食、無賃乗車

理由は → 37%が「生活苦」

- ・罪の意識はあるの

警察に捕まる → 怒られる → 悪いことをした。

罪を犯さないように生活する → 方法がわからない。

知的障がい者の特徴

- コミュニケーション能力が弱い
 - ・生活に必要な情報が得られない
 - ・他人とトラブルになりやすい
 - ・困ったことがあっても相談出来ない
- 抽象的な概念、複雑なことは理解しにくい
 - ・ルールを理解、約束事が理解できない
 - ・見通しが立てられない
- 集中力が弱い
 - ・落ち着きがない、人の話が聞けない
- 自己コントロールが弱い
 - ・我慢できないことがあると泣く、怒る
- 状況を判断することが苦手
 - ・自分で決めることが出来ない。新しい環境・体験に混乱し、パニックをおこす。パニックとは奇声、大声、挙動不審等
- 読み書き計算が苦手
 - ・書類、説明書の内容が理解できない。計算ができない。

入口支援とは

- 知的障がい者を有していることがわからない
小中学校 成績が悪い
先生・親 → 勉強を頑張らないから成績悪い
努力が足りない。怠けている。
友人から → へんな奴、空気が読めない。
気分を害することを話す。
あいつは馬鹿だ。いじめてやれ。
本人 → 努力している、勉強している でも
わからない。怒られる。
正直に思ったことを話している。
いじめられる。友達が嫌だ。
相談出来る人がいない。

福祉支援の意味

- 刑罰を加えるのではなく、福祉支援を行う。
- 福祉支援とは、
 - ・対象者に必要な福祉制度利用を支援
例 療育手帳申請
住居の確保 日中活動の場の提供など
 - ・障がい特性に応じた対応＝相談援助
社会福祉士の専門性を生かした専門的な面接技術、知識で対応
- 目的は
地域社会でその人らしい暮らしを実現
犯罪行為をしない生活の実現。犯罪抑制
障がいがあってもなくても一緒に生活出来る社会の実現。共生社会の実現。

入口支援の実際

- ある街で、放火未遂事件が発生。
国選弁護士から当事務所へ連絡、被疑者が知的障がい者を有している。
- 弁護士と一緒に接見
やり取りは普通に出来ているが、話の内容を本当に理解しているかは不明。何を聞いても大丈夫、大丈夫、反省しています。と返答。何が大丈夫なのかは本人はわからない。放火した理由は、仕事を辞めたかった。職場が火事になったら仕事が出来なくなり辞められる。火事になったら、様々な被害が出ることは考えられない。周りに相談出来る人がいない。相手にされない。
- 裁判
裁判員裁判の場へ弁護側証人として証言
福祉的な支援が本来必要な人であったが、それを受けることなく生活してきた。
犯した罪は重大だが、刑務所での更正ではなく、必要な福祉支援を受けることで、今後、罪を犯すことなく生活出来る可能性が高いこと。社会生活での更正がふさわしい事などを証言。
- 判決 執行猶予付きの実刑判決
- 判決後～現在
療育手帳の取得の手続きを支援
居住地としてグループホーム入所の支援
就労先として福祉就労事業所を紹介し就労中
定期的な訪問を行い、日常生活上の相談に応じている。

入口支援の今後

- 司法と福祉の連携
 - ・弁護士さんが事件で被疑者に接見した際、福祉支援が必要だと思う場合に連絡。
 - ・弁護士さんと定期的な勉強会の開催。
 - ・入口支援が可能となるシステムづくりの構築
- 課題
 - ・支援に関しての報酬は一切ない。(社会福祉士側)
 - ・入口支援についての理解と重要性の喚起
 - ・支援側の体制強化の構築
 - ・警察、検察、裁判所に福祉支援の必要性を理解

本日はご静聴ありがとうございました。



ニコニコボックス

五十嵐正会長、石畑幹事 NPO法人 小呂野ゆあさ社会福祉士事務所 寺尾賢一様 本日はよろしくお願ひ致します。

■広告料

三光工業(株) 林完治会員

■出席報告

- ・11月15日(火) 46名中出席26名(免除2名)
- ・11月1日(火) 68.18%

(有)フォトスタジオ嵯峨

松井 久男 会員

富岡町3丁目27-15 電話 45-1276

市内他クラブ プログラム

11月30日(水)	函館北RC	卓	話
12月1日(木)	函館RC	卓	話
12月2日(金)	函館五稜郭RC	卓	話
12月5日(月)	函館亀田RC	卓	話

◆テレフォンサービス 26-3170◆

(株)エイワアルミ産業

松山 茂 会員

美原1丁目45-14 電話 42-0387